

と。是も誣言でないと思ふ。獨逸書では次の二種

- 1. Claus—Groben, Lehrbuch der Zoologie, p.970, f.993.
- 2. Hertwig, Lehrbuch der Zoologie, p.6353, f.588.

英書では Claus の譯書もあるが先づ次の二種

- 1. Parker and Howell—Text Book fo Zoology p.1407, f. 1835.
- 2. Sedwick—Student's Text—Book of Zoology, p.21193, f. 1375.

以上四種の動物書には夫々善い所もあり又缺點もある。要するに Hertwig を除いては内容の分量の點に於て孰も提要に優るといはれるだらうが提要に採用せられたる動物分類法は内外の動物書中最も新しい且動物各部類に關する説明の精粗に餘り甲乙のないのは提要の勝れたる特色であると思はれるし又動物の實例は悉く本邦産に取られ到り本邦の學生の爲に特に著述されたのであるから此の一點から考へても確に洋書に優る所はあると思ふ。

最後に和洋共に多數の參考書を擧げてあるのは實に申分のない親切のことであるとあるが如何にも然うである。洋書でもこんなに澤山の參考書を掲げてあるのではない況んや日本語の動物書には殆ど例のないことゝ信ずる。一體著者が一々參考書を擧げるのは非常に手數なことて面倒臭い業である。博士が其の勞をも厭はなかつたのはいはゆる親切と言はるゝ點で後進者が之れが爲にどれ程幸福であるか測り知れない且これが後進者を獎勵する動機となるから博士の勞は決して無駄でないと思ふ。

以上は予輩が本書を所々拾ひ讀をし圖書會社の公告文を見て之れを對照し其の文言に偽りのないことを感じた

點である。兎に角動物學を修めんとするものは勿論苟も博物學の教授を擔任するものは是非とも一讀すべき貴重

### 雜 報

役員交替 大正五年四月以降平田教授は理科部長として本部の爲め盡力せられ居りしが本年四月より矢部教授新に部長となられたり會計掛は從來江澤教諭二年間當られ居りしも本年四月より平島助教授之に替られたり。

黒田牧田兩氏の就任 理學士牧田らく子氏は去る四月より講師として數學の授業を分擔せられ居り同黒田ちか子氏は七月迄東北大學にて其研究を續けられ居りしが九月より本校教授として有機化學の授業を受持たるゝことゝなりたり。

### 會費受領報告(大正七年三月廿七日ヨリ 九月三十日マデ)

金六拾錢(大正七年分)

芳尾里能	尾田英	滋賀千代	林 薰
大石トヨ	鈴木信	田村あい	河上みわ
新井しづ	奈良そう	高間のぶ	小倉あい
大島てい	沼野ハナ	本間ナヲ	永井やゑ
本間ヤス	櫛山 靜	栗山つな	宮本ふゆ
北川よね	磯部フサエ	木津しげ	山寺せい
安達 智	門田あき	増田敏子	中馬キチ



長谷川たま	原 タク	阿部千代	村金祝子
石塚千代	松岡芳女	鎌田みより	築地サツ
田中たま	高橋としえ	平原よね	山本りと
石川フサ	金上ヤイ	大森里	富田きしゑ
川谷てふ	川村禮子	石原なを	稲木ヒサ

服部キミヨ

金六拾錢(大正六年份)

萩原せん

金貳拾錢

中城こま

金壹圓貳拾錢(大正六・七年份)

榆木なつ 原田キミ 木原ユキ

金壹圓貳拾錢(大正五・六年份)

丸茂たまじ

同 上(大正七・八年份)

平岡もと 江木よし 小澤きよ 中澤琴路

金壹圓四拾錢(大正七の殘と八・九年份)

庄司みどり 尾形たけ

金壹圓八拾錢(大正五・六・七年份)

青木ゑい	角貞尾	倉智春野	井合とき
渡瀬茂	中島いつ	山口竹恵	江秀子
上原幾重	星サイ	山田ひろ	新庄たか
千葉しげる	名取はな		

金貳圓(大正七の殘と八・九・十年份)

楊陰楡

金貳圓拾錢(大正五年より六・七・八年份)

山西しげの

金參圓 (大正六年より十年迄)

小關環

### 廣 告

拂込通知票一枚大正七年四月二十五日頃のもの不着同票に記入の金額は推定出来候も拂込人名不明に付會費御拂込にて前報告中に見へざる方は御手数ながら御一報煩はしたく候追て會費は一ケ年六拾錢に付端數の出でざる様御拂込下さる事を希望致候。